

右距骨離断性骨軟骨炎

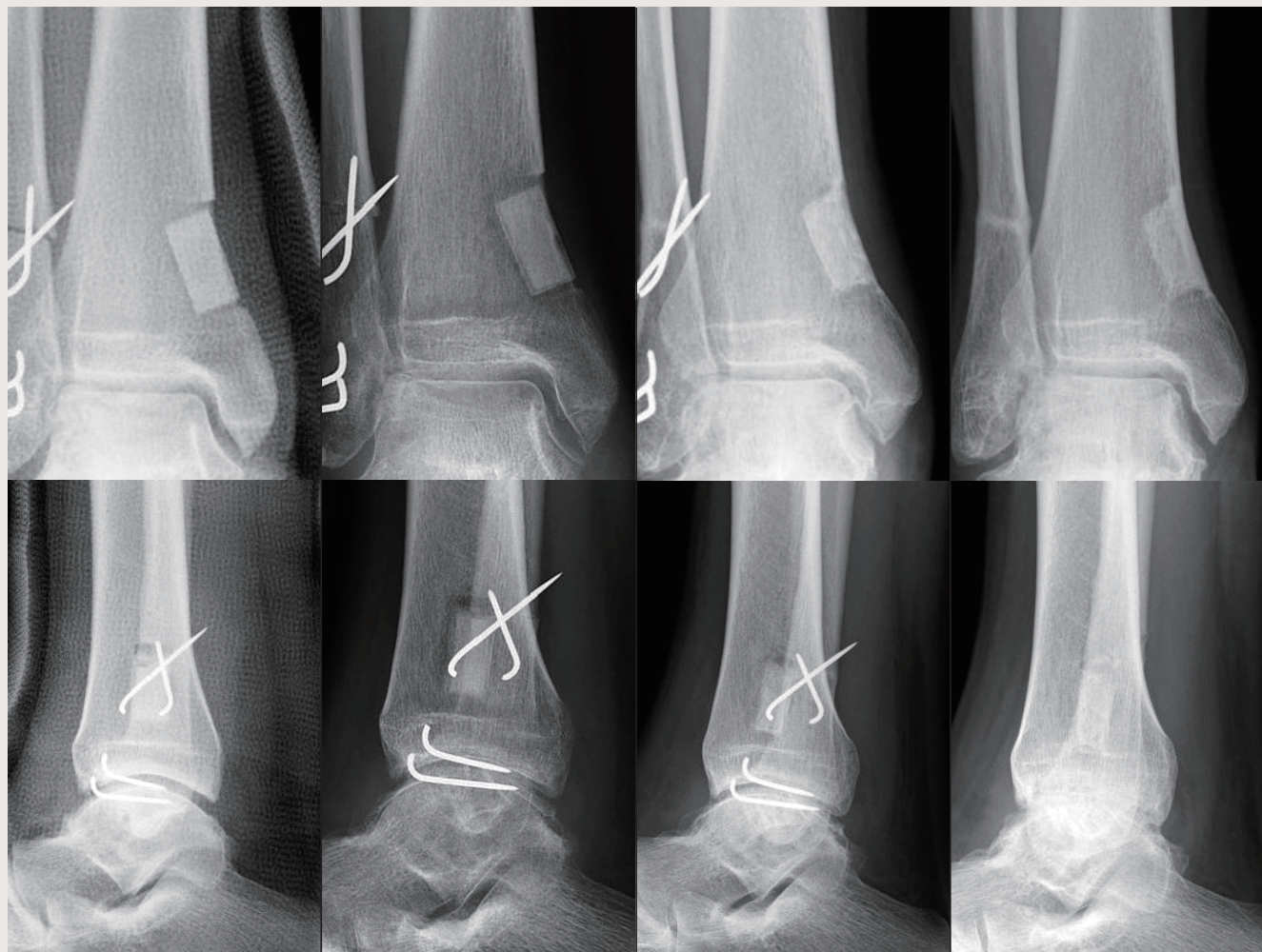
軟骨離断部を搔爬後、骨釘による自家骨移植で内固定を行った。

脛骨遠位内側から採骨し、同部にスーパーポアブロックKB-2 (10×20×10mm) を充填した。

術後8週間外固定とし、以後荷重を開始した。



KB-2
10×20×10mm



術直後

術後3ヶ月

術後6ヶ月

術後9ヶ月

術後6ヶ月で人工骨は周囲と同化しており、術後9ヶ月で吸収置換の進行が確認できる。